

かいりゅうば



令和5年 新年号



新年あけまして おめでとうございます

仙台海岸出張所の役割

仙台湾南部海岸は昭和40年頃から急激に海岸侵食が進み、山元海岸・岩沼海岸では砂浜の減少により堤防が倒壊するなど大きな被害に見舞われてきました。平成12年度からは特に海岸侵食の著しい山元海岸（中浜・笠野地区）9.2km、岩沼海岸（蒲崎地区）4.7kmの合計13.9kmの海岸侵食対策として海岸保全施設（ヘッドランド・養浜工）の整備を進めていましたが、平成23年3月11日の「東日本太平洋沖地震」及び、それに伴う津波により、堤防決壊や消波ブロックの飛散、堤防裏法面の流失など甚大な被害を受け、海岸堤防の復旧工事を行いました。現在は、山元海岸中浜工区の施設整備を重点的に進めています。

海岸巡視について

仙台海岸出張所では、海岸保全施設に損傷等がないか、海岸での違法行為がないか確認するため毎週、山元海岸・岩沼海岸の巡視をしています。

海岸巡視 の ようす



▲ゴミの不法投棄



▲ヘッドランドの状況



▲砂浜の浸食（浜がけ）



▲砂浜の計測



▲焚き火の不始末

令和4年4月から12月まで
巡視で発見した件数

- ・海岸・施設の不適切な利用 15件
- ・海洋生物、船の漂着 5件
- ・ゴミの不法投棄 9件
- ・砂浜の陥没、浸食 17件
- ・焚き火、火の不始末 30件

山元海岸・岩沼海岸（当出張所管理区間）で異常等を発見した際は、仙台海岸出張所（0223-25-5431）へ連絡または巡視員へお声がけをお願いします。



海岸の「火災予防」にご協力ください！



寒い時期になり、海岸での焚火の痕跡が多く見られます。

冬の季節は空気が乾燥し、風も強く吹くので火が燃え移りやすく、焚火が原因の火災が発生する恐れがありますので、火を使用したあとは完全に消えているか確認してから離れましょう。火災は危険だけでなく、海浜動植物に悪影響をおよぼします。

貴重な海浜動植物を守るためにも、海岸の火災予防にご協力ください。



ヒトネちゃん



▲ R4.11.14撮影 焚火の痕跡（中浜海岸）



▲ R4.12.12撮影 焚火の痕跡（笠野海岸）

仙台南部海岸に生息する海浜植物

東日本太平洋沖地震の津波以降、海岸には貴重な海浜動植物が徐々に増えてきています。今後も保全の為、火災予防にご協力をよろしくお願いします。



カイガンマン



▲ハマエンドウ



▲テリハノイバラ



▲ハマニガナ